

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	市民協働推進課	
施策	9	地域コミュニティの維持・活性化	評価 責任者	佐藤 篤	内線 2110
小施策	9-1	コミュニティ活動の支援	評価 シート 作成者	小山 訓	内線 2111

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
町内会・自治会においては地域の安全・安心を守る活動や住民同士の親睦を深める活動が自主的に行われており、また市の施策に対しても理解と協力をいただきながら、連携してまちづくりを進めています。 また、市内全30のコミュニティ推進地区組織においては、地域の課題に対応した様々な取組を行っていただき、そのうち12の地区においては、地域の課題解決・将来像の実現のため、地域づくり計画を策定していただき、地区にあるさまざまな主体と一緒に、市の補助金を受けて様々な事業を行う地域協働によるまちづくりに取り組んでいただいている。 しかし、少子高齢化の進行により活動の担い手が不足している、活動への参加者が少ないといった、地縁団体の持続的な活動に対する不安が生じてきており、これらの課題を市と地域と一緒に解決する必要がある。	町内会・自治会が、住みよいまちづくりのための活動を将来にわたって持続的に展開できるよう、町内会・自治会の役員の事務負担軽減に向けた取組や、市と地域とのパイプ役を担う体制の整備などの支援策を進めていく。 コミュニティ推進地区組織においては、地域の特性に合わせた主体的な活動や地域協働による取組の更なる促進を図る。 また、さまざまな団体等と市が、連携・協力しながらまちづくり活動を行う「市民協働」を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
町内会・自治会 コミュニティ推進地区組織	団体が持続的な活動展開を行っていただくための支援をする。 その活動を市民全体に周知するとともに、活動のリーダーを養成する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点
指標① 町内会・自治会への協働推進奨励金支給率	%	↗	<p>・制度実施3年目を迎え、制度に対する理解が進んだ。</p> <p>・各種補助事業の一本化及び簡素化による町内会の事務負担軽減を図った。</p>	<p>・個別町内会への資料作成の補助を行う等、町内会の負担軽減を行いながら、制度に対する理解が進むよう取り組んだ。</p>	
当初値 (H25) 0.0	R1目標値 100.0	R6目標値 100.0			
指標② コミュニティリーダー研修会, 人材養成講座への参加人数	人	↗	<p>・町内会活動が困難な町内会からの書類提出を促す。</p> <p>・子ども会との関係性が希薄な町内会にとって、子ども会の育成会加入人数等に関するやり取りが難しい。 ・子ども会が子ども会育成会連絡協議会に加入したことを確認してから支出をするため、奨励金の支払いが遅くなる町内会がある。</p>	<p>・少子高齢化及び世帯数の減少により、町内会活動を行うことができない。 ・商店を中心とした地域において、居住世帯数が少なく、町内会活動が存在しない。</p> <p>・町内会と子ども会との関係性が希薄化している。 ・子ども会の会長は毎年変更となる場合が多く、引継ぎが上手くいっていないため、子ども会育成会連絡協議会への加入手続き等が遅れてしまう。</p>	
当初値 (H25) 201	R1目標値 220	R6目標値 250			
			<p>・リーダー研修会, 人材養成講座ともに約90%の人が「参考になった」と回答。地域活動に必要な知識・技術の普及が図られた。</p>	<p>・全国でも注目度の高い、全世帯加入のNPO法人として持続可能な新しいまちづくりに取り組む、特定非営利活動法人きらりよしまネットワーク代表を招聘。市と町内会・自治会だけでなく、多様な主体による地域づくりに対して改めて考える、好機となった。 ・災害公営住宅における自治会設立事例や活動を広げるために行っている工夫などについて学び、また、自分の居住する町内会・自治会が抱える課題や取組み事例の意見交換を行うことで、住民同士の意見交換や意思疎通の重要性について再認識した。</p>	
			<p>・コミュニティリーダー研修会の参加者は増えたが、人材養成講座の参加者は減少した。</p>	<p>・市民ニーズの把握に努めるとともに、事業の実施時期、会場設定、周知方法など、様々な要素を改めて検証する。</p>	

今後の方向性(令和元年度以降)

<p>評価を踏まえた取組の方向性</p> <p>★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討</p> <p>★ 町内会活動に消極的な団体への制度周知に努めた上で、各町内会ごとの活動の助言等を行い、活性化を図る。</p> <p>★ H28年度の制度実施から3年が経過するにあたり、制度内容の検証を行う。</p> <p>☆1 盛岡市町内会・自治会協働推進計画の見直しに併せて、制度内容の見直しを行う。</p> <p>★ 市民ニーズを把握するため、地域活動の状況についての聞き取り調査を行う。</p> <p>★ より多くの参加者を集めるため、事業の実施時期、会場設定、周知方法などを再検討する。</p>
